

・ 今回の勉強会で一番心に残った言葉は「支援(フォロー)をする時に、相手に何が足りていないのか考えてやらないと、フォローする側の成長にはつながらない」でした。

「情報が足りていないから情報提供します」という動きは考えているうちに入らないということも、リマインドは行わないという動きと合わせて、今は納得できます。(正直1年前だと理解は難しかったと思います...)

世の中の人が思っているよりも「面倒くさがり」という話も、意図だけを燃料に動いてきたような自分にとっては驚きの感情の方が強いのですが、自分とは違う考えがあること、更にその考えの方が主流であること(自分が少数派であること)を頭に入れておくこともとても大事だと再認識できました。

3Qのテーマは「踏み込み」から更に進んだ「押しつけ」と「搾取に気付く」ことなのですが、自分が搾取されていることに気付くことと同じ位、メンバーが搾取されているというシーンに、メンバーが気付いていなかったとしても、声を上げることが大事だということを知りました。

またミーティングの中で、人間関係のレベル感に応じて求める内容を変える、最低限求めるレベル感を「提案」というアイデアもあり、基準を柔軟に変える思考を持つということも大事だなと思いました。

次の合宿に向けて、陽子さんより時期を事前に提案頂いて、ミーティングの中で日程も決めることが出来、一気にイメージが具体化したように感じています。

一方で形の無いもの、更に前回よりレベルアップしたと感じる手ごたえを感じられる場づくりもこれから始まる長い道のりです。

3Qの承認式代わりに基準も含めて、より自分に負荷をかけて臨むことでもあります。一方で2024年を迎える時にどこまで自分が、そしてチームとして変わっているのかも楽しみです。

(A.S 40代女性 北海道)